

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【公開番号】特開 2002-133541 (P2002-133541A)  
 【公開日】平成 14 年 5 月 10 日 (2002.5.10)  
 【出願番号】特願 2000-321649 (P2000-321649)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 8 B 13/196

E 0 5 B 49/00

H 0 4 N 7/18

【F I】

G 0 8 B 13/196

E 0 5 B 49/00 F

H 0 4 N 7/18 D

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

さて、センサ 6 A が動作した場合、キー保管箱 5 から「OK 出力」が出ているので、ステップ S 3 3 でキー保管箱 5 は制御器 2 2 を介して該当する I T V カメラ 8 A の映像を 3 秒間隔のコマ撮りとし、ビデオテープレコーダ 2 3 に録画し、かつモニタテレビ 2 4 に出力するとともに、ステップ S 3 1 へ戻る。ここで、センサ 6 A ~ 6 F に該当する I T V カメラ 8 A、8 B、8 G、8 H は次のように設定されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

( 5 ) 平常時の退室動作 ( 図 6 及び図 9 )

サーバラック 2 B のテナントが退室するときは、キーによってラック 2 B の扉を施錠する。次に、通路を入室時と逆に移動してセンサ 6 E の下を通ることになるが、センサ 6 E、6 C、6 A は、矢印 7 A と逆方向への移動に対しては不感となるので、警報器 9 E、9 C、9 A は鳴動せず、I T V カメラ 8 G、8 A の動作に変化はない。また、キーを収納する動作は取り出すときの逆となり、図 6 のステップ S 1 7 でキーを収納する以外はキーを取り出すときと同様である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

キーを収納したテナントは矢印 7 B と逆方向に移動してカードリーダー 4 C の前に来てカードを操作することになる。なお、このときセンサ 6 A は動作するが、キー保管箱 5 から「

ＯＫ出力」が出ているので、警報器 9 A は鳴動しない。

図 9 のステップ S 4 1 でカードリーダー 4 C のリーダーヘッド 1 1 は判別カードをリードするのを待ち、判別カードをリードしたら、ステップ S 4 2 で本人かを判定し、本人でないと判定すると、ステップ S 4 3 で表示器 1 2 の N G 灯 1 2 B を表示するとともに、ステップ S 4 1 へ戻る。本人であると判定すると、ステップ S 4 4 でその人の「部屋内フラグ」が立っているかを判定する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

( 6 ) 侵入発生時のセンサ 6 A , 6 C , 6 E 等の動作 ( 図 8 ) ( センサ 6 B , 6 D , 6 F 等の場合も同じ。 )

今、図 8 のステップ S 3 1 で、例えばセンサ 6 A が動作したにもかかわらず、ステップ S 3 2 でセンサ 6 A の手前のキー保管箱 5 から「ＯＫ出力」が出ていないと判定されたとすると、ステップ S 3 4 及びステップ S 3 5 へ進む。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

これで、ステップ S 3 7 では該当する警報器 9 A を断続鳴動させる。また、ステップ S 3 8 ではすべての I T V カメラ 8 A ~ 8 H の映像を連続撮りとし、ビデオテープレコーダ 2 3 に録画し、かつモニタテレビ 2 4 に出力する。

なお、センサ 6 C , 6 E についても同様である。

上記 ( 1 ) ~ ( 6 ) の実施の形態では、人が出入口扉 3 A から入室してサーバラック 2 B に至るものとしたが、出入口扉 3 B から入室する場合、及びサーバラック 2 A に至る場合についても同様であるため、詳細な説明は省略する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図8】

